



安全データシート

2020年10月8日

§1. 製品および会社情報

製品名 : ターペンタイン (製品コード : O 101、O 201、O 301、O 401、O 501)
 会社名 : ホルベイン工業 (株)
 住所 : 542-0064 大阪市 中央区上汐 2-2-5 (本社)
 電話 : 06-6191-7722
 担当部署・緊急連絡先 : 技術部
 住所 : 579-8063 東大阪市 横小路町 4 丁目 10 番 52 号
 電話 : 072-985-1221 作成者 : 荒木豊

§2. 危険有害性の要約

危険分類 : 引火性液体
 物理的及び化学的危険性 : 可燃性なので火源の存在下にて燃焼する。

GHS

引火性液体 : 区分 3

急性毒性 : 区分 4

眼球影響 : 区分 2B/眼刺激

皮膚刺激性 : 区分 3/軽度刺激性

皮膚感作性 : 区分 1/アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ

呼吸器 : 区分 1/吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

水性環境有害性 (短期/急性) : 区分 1/水性生物に有害性

危険有害性情報 : 可燃性液体。飲み込むと有害のおそれ

注意喚起語 : 警告、危険



§3. 組成及び成分情報

成分 単一製品・混合物の区別 : 混合物

組成 (化学名又は一般名)	化学式又は構造式	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
α-ピネン	C10H16	8006-64-2	4-593

§4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、保温して安静にする。
 飲み込んだ場合 : 大量を飲んだ場合を除き、無理に吐き出させようとせず、医師の処置を受ける (→有害性の項参照)。
 眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で洗い流し、医師の手当を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 皮膚についた部分を水および石鹸で洗い流す。
 医師に対する特別注意事項 : 灯油事故に倣う。

§5. 火災時の措置

消火方法 : 周囲の設備に散水して冷却する。可燃物を火災現場から隔離する。消火作業は風上から行う。
 消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡消火剤
 消化時の注意 : 不完全燃焼ガスには一酸化炭素などの有害ガスが含まれる。

消火を行う者の保護（保護具等）：人の保護には水噴霧を用いる。前項により、消火作業の際には保護マスク着用が望ましい。

§6. 漏出時の措置

除去方法：流出した液はウエースなどで拭き取る。あるいは砂や土をかける。
 二次災害の防止策：全ての火気と着火源を排除する。
 人体に対する注意事項：換気を行う。
 環境に対する注意事項：下水への混入を避ける。

§7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：眼や体内に入らぬよう注意する（蒸気を吸い込まぬようにする）。皮膚に長時間あるいは繰り返し触れないようにする。取り扱い後は手洗いを励行する。火気、静電気、火花などの着火源のない、常温の換気の良い場所で取り扱う。
 保管：火気厳禁。直射日光を遮れる通風のよい冷所に置く事がのぞましい。

§8. 曝露防止及び保護措置

曝露防止：排気装置などの環境を設けるのが望ましい。
 保護措置：必要に応じ、有機ガス用防災マスクまたは換気マスクを着用する。

§9. 物理的および化学的性質

色・形状：無色透明液体
 臭気：松ヤニ臭
 pH：－
 引火点：31℃
 発火点：278℃
 物理的状態が変化する特定の温度（沸点、沸騰範囲、融点）
 沸点：155℃
 蒸気密度（空気=1）：4.7
 蒸気圧：800 Pa（30℃）
 燃焼範囲、爆発特性（爆発限界）：約1～7%
 比重：0.864
 溶解性（溶媒に対する溶解性）：水に不溶。石油溶剤と相溶

§10. 安定性及び反応性

燃焼性：可燃性
 安定性：通常の実験条件下で安定
 反応性：なし
 分解生成物：二酸化炭素、一酸化炭素、水

§11. 有害性情報

吸入毒性：高濃度の蒸気（約1000ppm）は目および呼吸器官を刺激し、頭痛やめまいを誘発させる事がある。麻酔性があり、他の中枢神経系に影響を及ぼして譫妄症（せんもうしょう）、筋肉共働運動失調症、昏睡を惹起する。
 経口毒性：LD50 = 3,700mg/Kg
 嚥下自体での毒性はたいそう低いが、誤って飲み込んだり吐き出したりした際に呼吸器系に吸入された液体によって気管支炎や肺水腫を起こし得る。
 眼球への重篤な損傷性／眼刺激性：眼球刺激性を有する。眼球を損傷するものではない。
 経皮毒性：体質により刺激を感じ、アレルギー反応を示し、何度も繰り返して（あるいは長時間）接触すると、皮膚炎を起こす事がある。
 がん原性・感作性・慢性毒性・長期毒性・催奇形性・生殖毒性・変異原性：知見なし

§12. 環境影響情報

残留性、分解性 : 樹木由来製品であり、自然分解性と考えられる
魚毒性 : LC50 = 0.18mg/L (ファットヘッドミノー、96 時間)
生体蓄積性 : 生体濃縮性の疑い。LogPow=4.83 (α-ピネン)
土壌中の移動性 : 知見なし

LogPow : Logarithm of Octanol/Water Partition coefficient、オクタノール/水分配係数
LC50 : Median Lethal Concentration、半数致死濃度

§13. 廃棄上の注意

廃棄 : 危険物の規制に関する規則第 41 条以下の法規に従う。その他、地方および国の関連法規に従う。家庭で使用するレベルの量なら、ビニール袋に納めたウェース類にしみ込ませ、水を散布して密封し、可燃ゴミとして処理できる。

容器・包装の適正な処理方法 : 空のガラス容器の形で不燃ゴミとして処理する。

§14. 輸送上の注意

輸送に関する国内規制 : 危険物第 4 類第 2 石油類に関する一般的な注意による。

輸送に関する国際規制 輸送名 : テレピン油
国連分類 : クラス 3
国連番号 : 1299
パッキング グループ/容器等級 : III

§15. 適用法令

消防法 : 危険物第 4 類 第 2 石油類 非水溶性 (登録番号 4041-144692)
危険等級 : III

危険物の規制に関する規則 : 第 41 条以下の法規に従う

労働安全衛生法 : 危険物 (引火性のもの)

有機則 : 第 3 種有機溶剤

船舶安全法 : 引火性液体

海洋汚染防止法 : 有害液体物質、X 類物質 (施行令別表第 1)

高圧ガス取締法・毒劇物取締法 : -

本品は、ACMI (The Art & Creative Materials Institute, Inc.、美術材料協会) の製品分類基準において、CL (人体に何らかの作用を有し、適切な使用を望まれるもの) に分類されています。

§16. その他

- * 本シートは、製品を安全にご使用頂く為に必要な注意事項をまとめたもので、通常的な取り扱いを対象としています。使用方法は、これをご参照の上で使用者の責任に置いてお決め下さい
- * 記載内容は情報提供であって、いかなる保証を与えるものではありません
- * 記載情報は当社所有の情報によっていますが、その完全さを保証するものではありません
- * 記載内容は法令の改定や新しい知見によって変わる事があります